

ウェルビーイング  
**Well-being**

令和6年11月9日、「創立20周年記念式典」を行いました。  
本校は、20年前に島原南高校と有馬商業高校が一つになって誕生しました。そして、その当時の先輩たちの思いが、今もなお綿々と受け継がれている学校です。  
今回は、私が式典講話の中で話した「ある先輩」のことを紹介します。

**(校長式典講話より抜粋)**

今年の8月、島原南高校普通科の卒業生から「卒業証明書」発行の依頼がありました。大阪にお住まいの女性の方からでした。その申請書を見たときに、私は目を疑いました。生まれた年が昭和17年。年齢を計算したら、なんと今82歳の方です。証明書使用目的には「古典文学に興味があり、大学の社会人対象の講義を受講のため」と書かれてありました。連絡先が書いてあったので、私はその方に電話をして話を伺いました。その方は、本当は高校を卒業して大学へ行きたかったのだけど、経済的な理由で行けなかったから、独学で好きな古典を勉強してこられたとのことでした。今回、証明書発行を申請されたのは、京都大学の社会人対象の古典文学を勉強する聴講生として申し込むため、来年の2月から片道1時間かけて、大阪から京都大学まで勉強しに行かれるとのことでした。

80歳を超えてまでも、学ぼうとなさっているその志に私はものすごく感動いたしました。なんと素敵な人生なのでしょう。皆さんはそう思いませんか。そして、この方の生き方を知ったとき、ガンジーが残した有名な言葉を思い出しました。「明日、死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ」という言葉です。皆さんの大先輩に、このような志を持っている方がいらっしゃることは、本校の誇りであり自慢です。皆さんもこの方のように自分の人生を自分で幸せに導いていって欲しいと思います。

**この女性の方は、創立20周年のお祝いの電報を送ってくださいました。その後も、交流が続いています。私は、このような素敵な大先輩といつかお会いしたいと思っています。どうかそれまでお元気でお過ごしください。**